第２学年題材指導計画⑨

いろいろな音をかさねてたのしもう（８時間扱い）

１　題材のねらい

○　互いの音を聴きながら，拍の流れを感じ取ってリズム表現ができるようにする。

○　声や楽器の音色や響きを感じ取りながら，聴いたり演奏したりすることができるようにする。

２　教材について

(1)「山の　ポルカ（作詞　芙龍明子　チェコ民謡）」A（1）ア　A（1）イ　A（2）ウ　A（3）イ

この曲は、歌いながら思わず手拍子を打ったり、体を動かしたくなるようなリズム感をもっている。２拍子の拍の流れもとらえやすく，リズム伴奏を工夫して表現するのに適している。平易で子どもたちも暗唱しやすい旋律で，きれいな音に気を付けながら演奏したり，音色を考えた楽器の選択や旋律とのバランスを考えたリズム伴奏をしたりすることなどに重点をおいた活動を展開することができる。

(２)「こぐまの二月（市川都志春作曲）」　A（1）イ　A（2）ウ　A（3）イ

長い冬ごもりからふと目覚めたこぐまが，春を待ちわびる様子を愛らしく歌っている。旋律はａ（４）ｂ（４）の一部形式で構成されており，六小節目の４度の跳躍を除けば，すべて順次進行または同音連続による旋律である。歌による主旋律には副次的な旋律及び低音のパートがつけられていて，これらはともにド～ソの５音によって構成されており，自分のパート演奏に気を取られず，他のパートや伴奏を聴き合って音を重ね合う活動に適している。

(4)「森の音がくかい（橋本祥路作曲）」　B（1）ウ

軽快なポルカの形式によるこの音楽は，原曲がチェコの民謡で，教科書Ｐ.32 の「山のポルカ」の旋律を題材にしている。管楽器と打楽器を中心に，各楽器が断片的な独奏部をつくり，それぞれの楽器の音色をとらえやすいようにまとめられている。個々の楽器の音色の特徴を感じ取りながら，楽器の音が重なり合う楽しさを味わわせたい。

３．題材の評価規準

	ア　音楽への関心意欲態度	イ　音楽的な感受や表現の工夫	ウ　表現の技能	エ　鑑賞の能力
題材の評価	声や音が重なり合う響きに関心をもち，進んで聴いたり表現したりしようとしている。	音量のバランスに気を付けて，演奏の仕方を工夫している。	簡単なイ長調の旋律を視奏し，互いの歌声や楽器の音，伴奏の響きを聴きながら演奏している。	音色の違いや響きのおもしろさを感じ取りながら演奏を聴いている。

学習活動における具体的な評価規準	①斉唱や輪唱などの歌唱表現に関心をもち，楽しく歌おうとしている。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □身体表現をしながら □拍の流れに乗った身体反応 ②重なり合う響きを楽しみながら，進んで旋律を演奏したりリズム伴奏したりする活動に取り組んでいる。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □心を合わせて演奏しようとしている。 □常に相手の音を聴こうとして	①互いの音を聴きながら，音の出し方や楽器の組合せを工夫している。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □いい音の出し方を試しながら ②低音の響きや伴奏，副次的な旋律を聴きながら演奏の仕方を工夫している。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □伴奏の響きを感じ取って表現 □旋律の重なり合いの良さを感じ取って ③旋律が重なり合う響きを感じて，演奏の仕方を工夫している。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □器楽表現の良さや楽しさを感じ取って	①階名模唱し，鍵盤楽器で旋律を視奏している。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □音程やリズムを揃えて演奏 ②互いの音を聴きながら，拍の流れに乗って，鍵盤楽器やリズム伴奏を合わせて演奏することができる。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □拍の流れに乗ったスムーズな演奏 □常に相手の音を聴いて	①音色の違いを感じ取りながら，楽しく聴くことができる。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □音色の違いのおもしろさに気づいて ②音色の特徴に気づいて聴くことができる。 〔Ａと判断するｷｰﾜｰﾄﾞ〕 □楽器による気分の違いを感じ取って □音色の違いのおもしろさに気づいて

4　指導と評価の計画（８時間扱い）　　○：取り扱い項目　　◎：取り扱い重点項目

時	主な学習内容	具体の評価規準	指導要領との関連	内容のまとまりとの関連				評価方法等
				歌唱	器楽	創作	鑑賞	

1	《山のポルカ》 ○曲の気分を感じ取って、歌ったり身体表現したりする。 ・範唱を聴き、２拍子のリズムを感じ取って歌う。 ・フレーズごとに交互唱をする。 ○拍の流れに乗って旋律を楽器で演奏する。 ・旋律を階名唱したり、階名暗唱したりする。 **・鍵盤楽器でフレーズごとに分担奏をする。** ・全曲を通して演奏する。	ア－① **ウ－①**	A（1）ア **A（1）イ**	○ 	 ◎			行動観察 歌唱聴取 演奏聴取
2	○楽器の組み合わせを工夫して，バッテリー奏をする。 ・リズム唱しながら，手や膝，足などを使ってリズム打ちをする。 **・グループごとに，リズムに合った打楽器を選び，組合せを工夫する。** ・グループごとに発表し聴き合う。 ○リズム伴奏に乗って歌ったり，合奏したりする。 ・鍵盤楽器・打楽器などで，歌と合わせて演奏する。	 **イ－①** ウ－②	 **A（2）ウ** A（3）イ	 	 ◎ ○			行動観察 演奏聴取
3	《こぐまの二月》 ○様子を思い浮かべて聴いたり，歌ったりする。 **・範唱を聴いて，曲全体の気分を感じ取り，伴奏を聴きながら歌う。** ・主旋律を階名唱し，旋律の動き　をつかむ。	 **イ－②**	 **A（2）ウ**	 ◎				行動観察 歌唱聴取 発言

4	○主旋律を階名暗唱する。 ・伴奏に合わせて手拍子を打ちながら階名唱，階名暗唱する。 ○低音の響きを聴きながら歌う。 ・鍵盤２のパートを階名唱する ・鍵盤２のパートを演奏する。 **・低音を聴きながら主旋律を歌詞唱したり階名唱したりする。**	イ－② ウ－① **イ－②**	A（２）ウ A（１）イ **A（２）ウ**	○ ◎	 ○			行動観察 演奏聴取
5	○主旋律を鍵盤楽器で演奏できるようにする。 ・主旋律を階名暗唱する。 **・主旋律を分担して交互に演奏する。** ・互いの音を聴き合う。	 **ウ－①**	 **A（１）イ**		 ◎			演奏聴取
6	○副次的な旋律と主旋律のパート練習をする。 ・鍵盤１のパートを手拍子を打ちながら階名唱する。 ・タンギングに注意して、鍵盤１のパートを演奏する。 ○主旋律，副次的な旋律を合わせて演奏し，重なり合う響きを感じ取る。 **・旋律の重なりが感じられるよう、楽器を選択し、主旋律と合わせて演奏する。**	 ウ－① **ア－②**	 A（１）イ **A（２）ウ**		 ○ ◎			行動観察 演奏聴取
7	○主旋律・副次的な旋律（鍵盤１）・低音（鍵盤２）の三つのパートを合わせて合奏する。 ・自分のパートの練習をする。 **・他の楽器のパートを聴きながら，好きな楽器で三つのパートがよく聞こえるようにを合わせて演奏する。** ・全員で合奏をする。	 **イ－③** ウ－②	 **A（２）ウ** A（３）イ		 ◎ ○			行動観察 演奏聴取 演奏発表 学習カード

8	《森の音がくかい》 ○全曲を通して聴き，いろいろな楽器の音色を感じ取る。 ・場面を想像しながら全曲を聴く。 **・聞こえる楽器を演奏するまねをしながら聴く。** ○楽器の音色の変化を感じ取ったり，旋律を口ずさんだりして聴く。 ・旋律を口ずさんで聴く。 **・教科書の楽器の挿絵を指さしながら，音色の変化を感じ取って聴く。**	**エ－①** **エ－②**	**B（1）ウ** **B（1）ウ**				○ ◎	行動観察 学習カード